

2023年3月期決算説明資料



トナミホールディングス株式会社

2023年5月29日

1

2023年3月期 連結決算概要

2

2024年3月期 通期連結業績予想

3

第22次中期経営計画の進捗状況



1

2023年3月期 連結決算概要

2

2024年3月期 通期連結業績予想

3

第22次中期経営計画の進捗状況



2023年3月期 連結決算総括

2023年3月期連結業績は、営業収益「増収」、営業利益「増益」

営業収益

1,419億円、前期比較4.8%増、約65億5千万円の増収

総合的なロジスティクスサービスの充実により貨物輸送量が伸長、3PL事業の安定拡大やM & Aの寄与もあり増収。

営業利益

73億円、前期比較0.2%増、約1千万円の増益

業務効率化による生産性向上と外注業務の内製化等のコストコントロールの強化に努めた結果、増益。

経常利益

81億円、前期比較3.6%増、約2億8千万円の増益

親会社株主に帰属する当期純利益

53億円、前期比較5.5%増、約2億8千万円の増益



2023年3月期 連結決算の概要

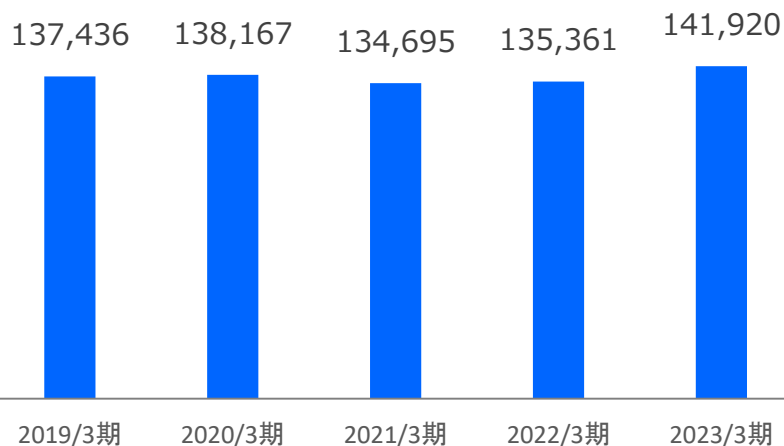
2期連続で増収増益を達成

(単位：百万円)

	2019年3月期	2020年3月期	2021年3月期	2022年3月期	2023年3月期	前期 増減率
営業収益	137,436	138,167	134,695	135,361	141,920	4.8%
営業利益	7,275	6,824	6,455	7,369	7,381	0.2%
営業利益率	5.3	4.9	4.8	5.4	5.2	△0.2P
経常利益	7,781	7,329	7,146	7,906	8,189	3.6%
経常利益率	5.7	5.3	5.3	5.8	5.8	△0P
親会社株主に帰属する 当期純利益	4,539	4,125	4,660	5,110	5,391	5.5%
当期純利益率	3.3	3.0	3.5	3.8	3.8	+0P

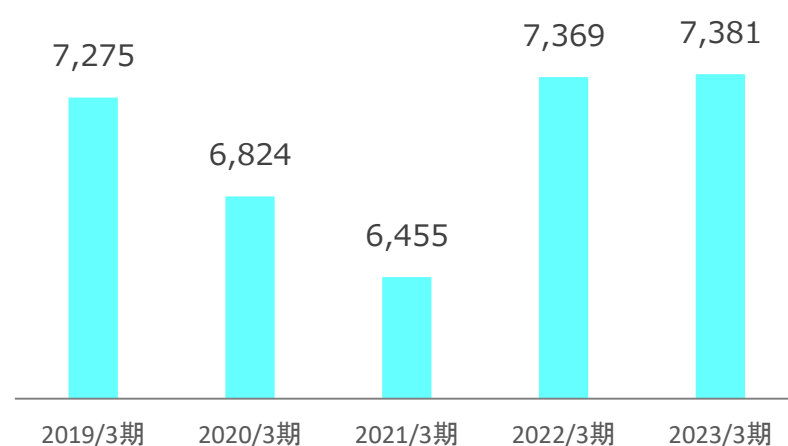
【営業収益】

(単位：百万円)



【営業利益】

(単位：百万円)



2023年3月期 セグメント別決算概要

物流関連事業は前期比較4.6%増、情報処理事業が前期比較17.0%増

(単位：百万円)

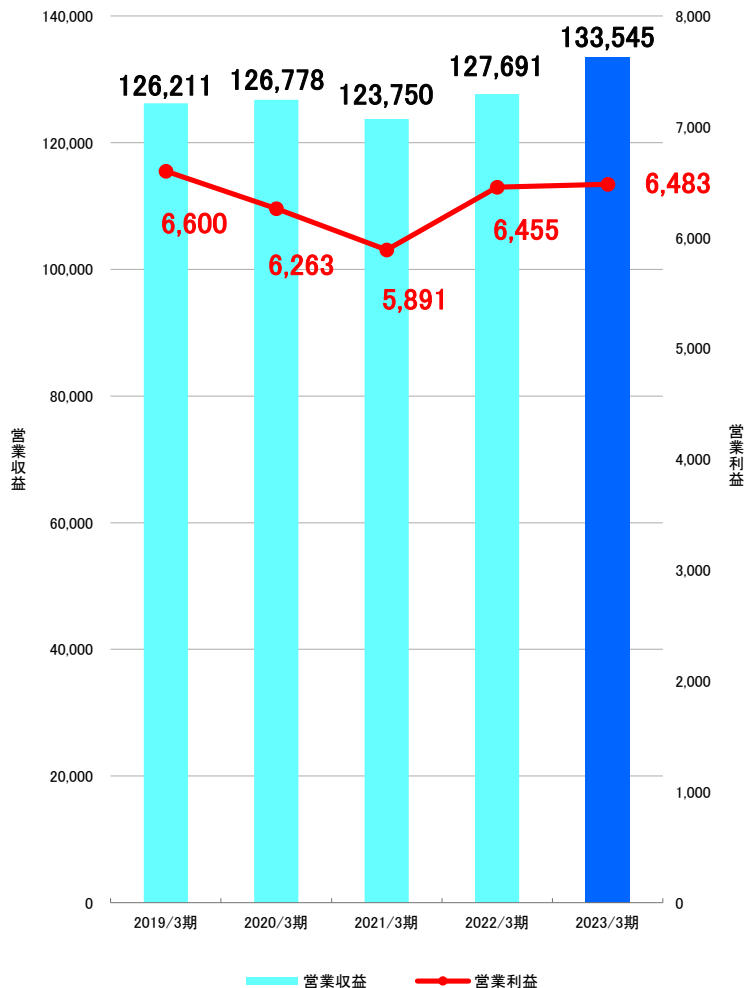
	2022年3月期		2023年3月期		増減	
	営業収益	構成比	営業収益	構成比	金額	増減率
物流関連事業	127,691	94.3%	133,545	94.1%	5,854	4.6%
貨物自動車運送事業 及び貨物利用運送事業	(90,021)	(66.5%)	(93,326)	(65.8%)	(3,305)	(3.7%)
倉庫事業	(33,275)	(24.6%)	(34,509)	(24.3%)	(1,233)	(3.7%)
港湾運送事業	(4,393)	(3.2%)	(5,709)	(4.0%)	(1,315)	(29.9%)
情報処理事業	2,733	2.0%	3,198	2.3%	465	17.0%
販売事業	3,025	2.3%	3,145	2.2%	119	4.0%
その他	1,911	1.4%	2,030	1.4%	119	6.2%
営業収益合計	135,361	100.0%	141,920	100.0%	6,558	4.8%



2023年3月期 セグメント別決算概要

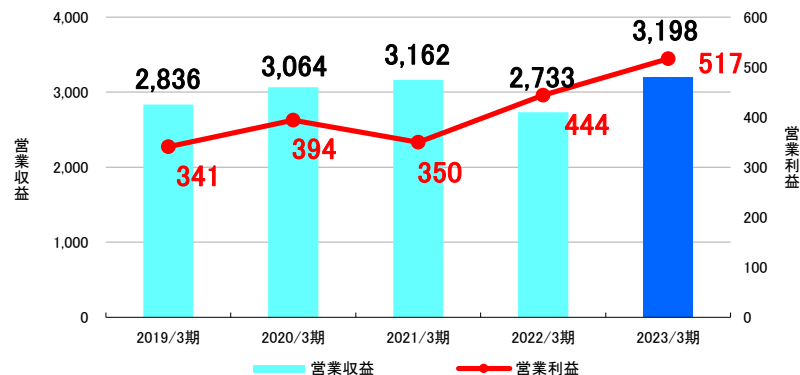
物流関連事業

(単位：百万円)

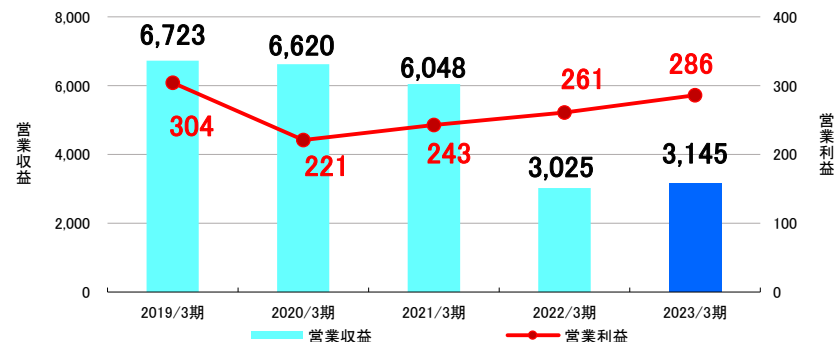


情報処理事業

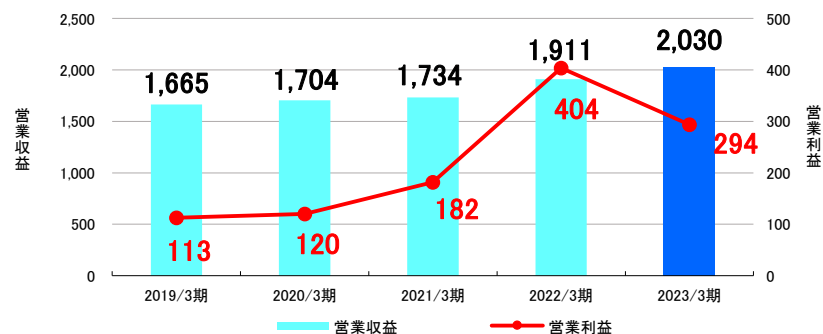
(単位：百万円)



販売事業

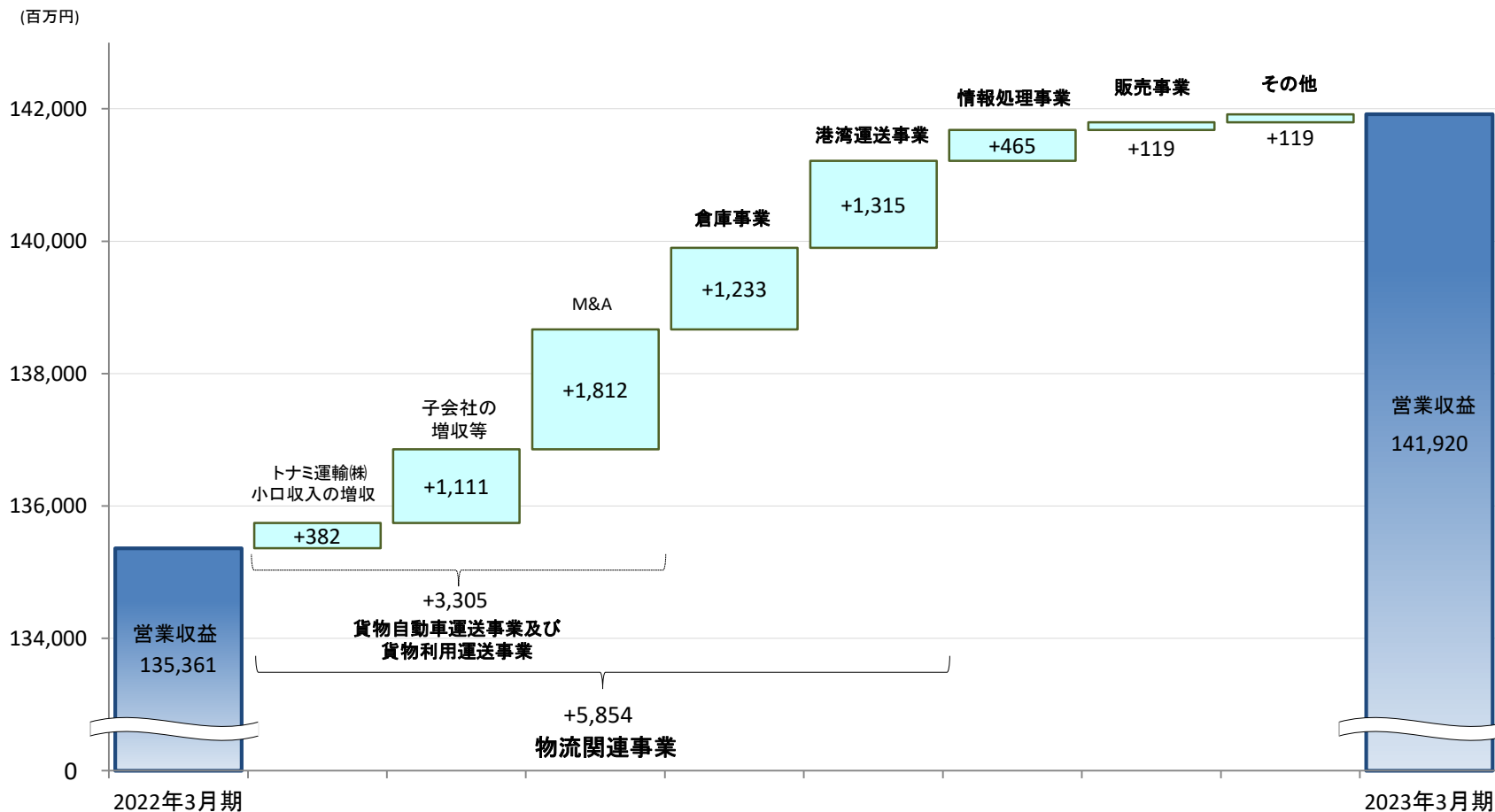


その他

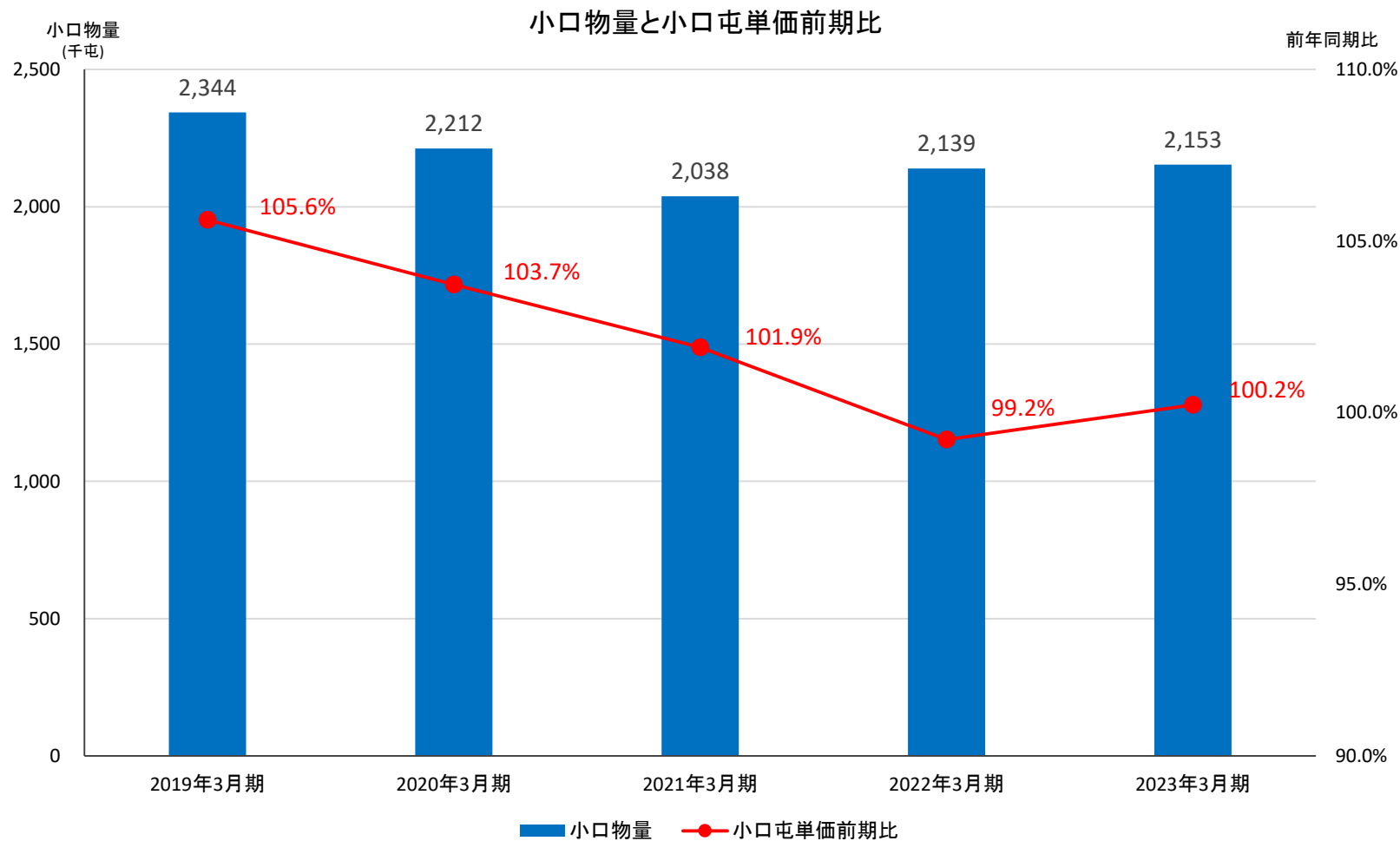


2023年3月期 営業収益の増減要因

営業収益は前期比較4.8%増、約65億円の増収

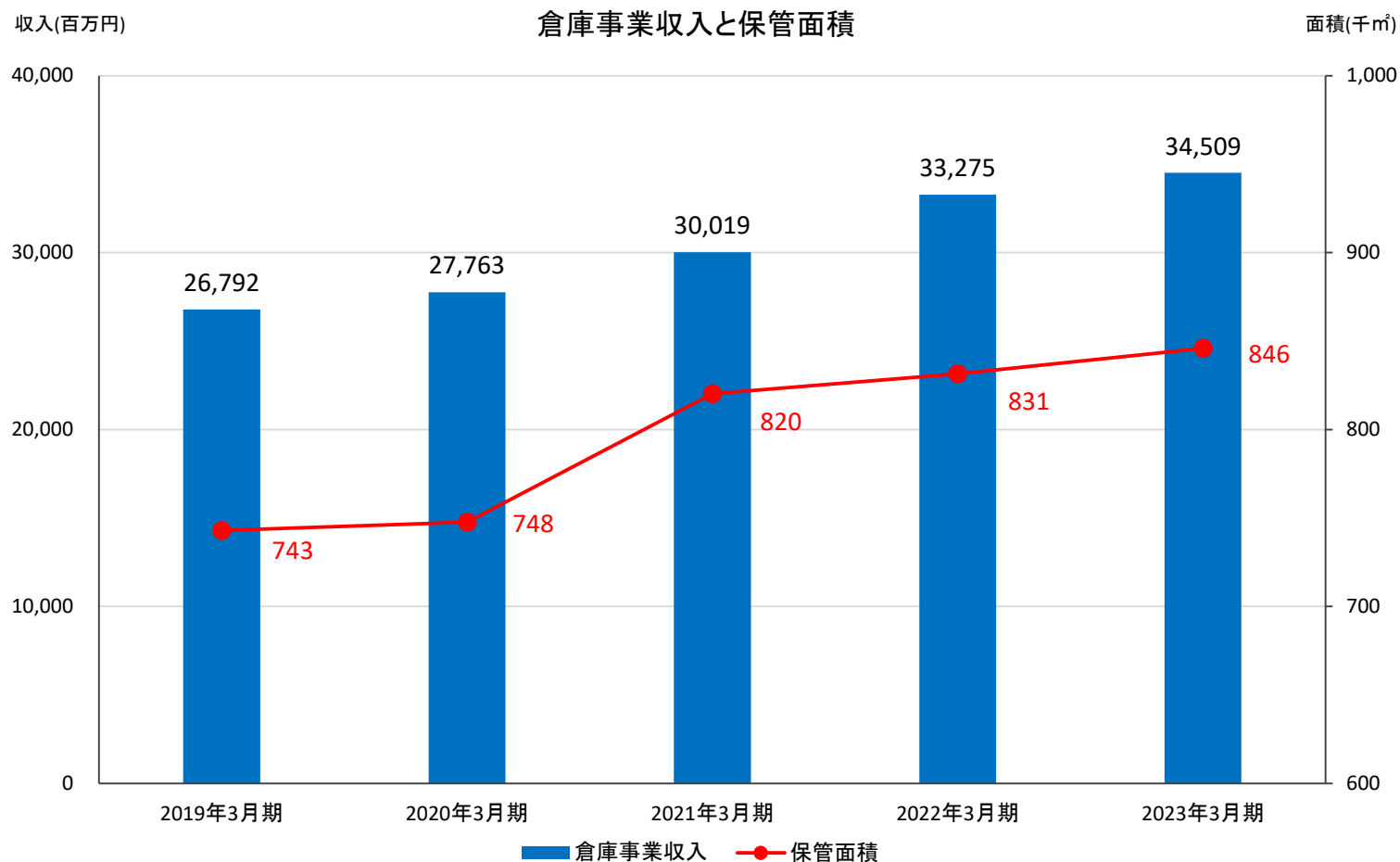


2023年3月期 特別積合せ貨物運送事業の状況（トナミ運輸株）



2023年3月期 倉庫事業の状況

保管面積の拡大により、倉庫事業収入は前期比3.7%増

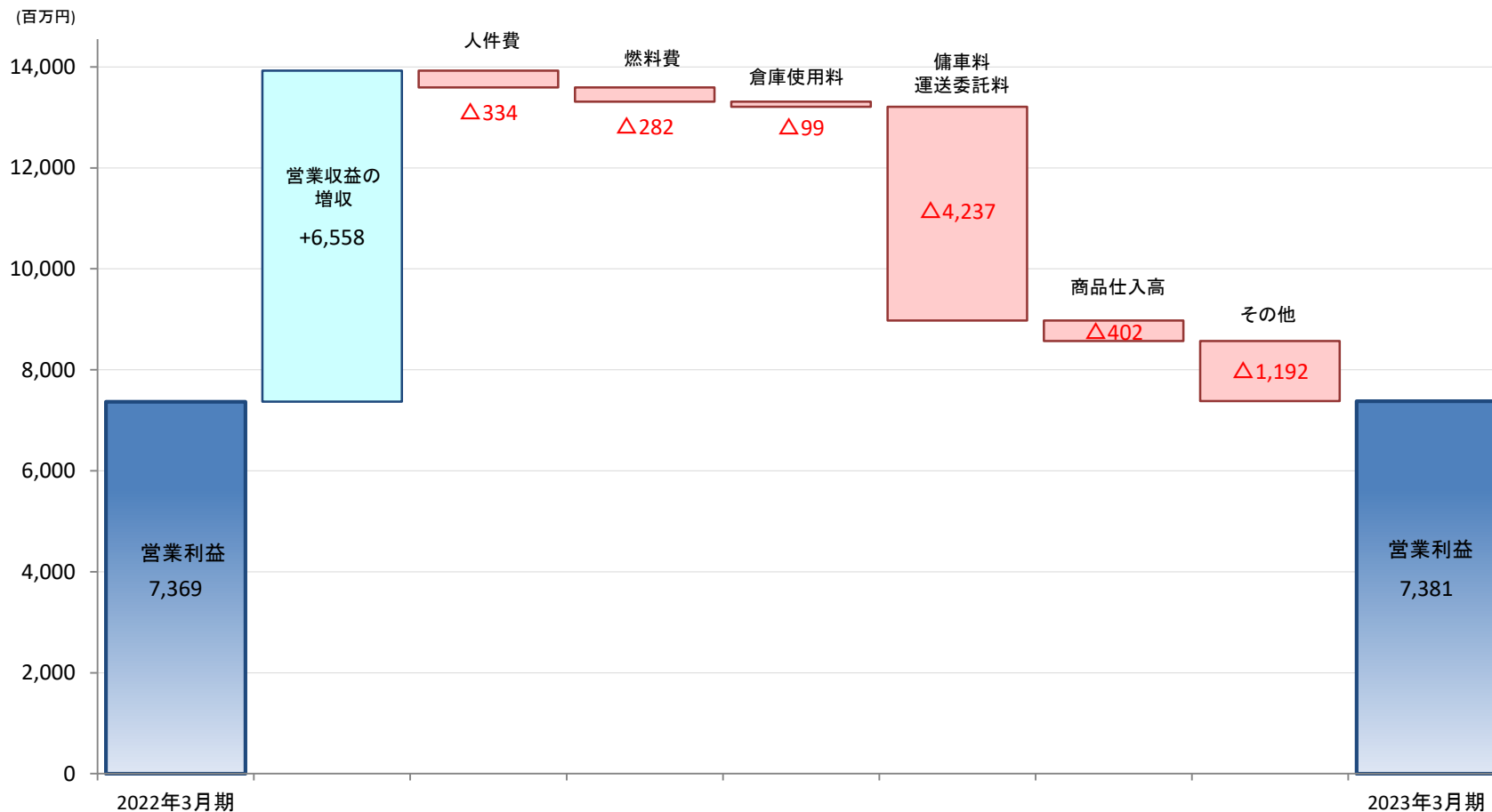


(註)2023年3月期の保管面積846千㎡の内、自社倉庫の保管面積は400千㎡



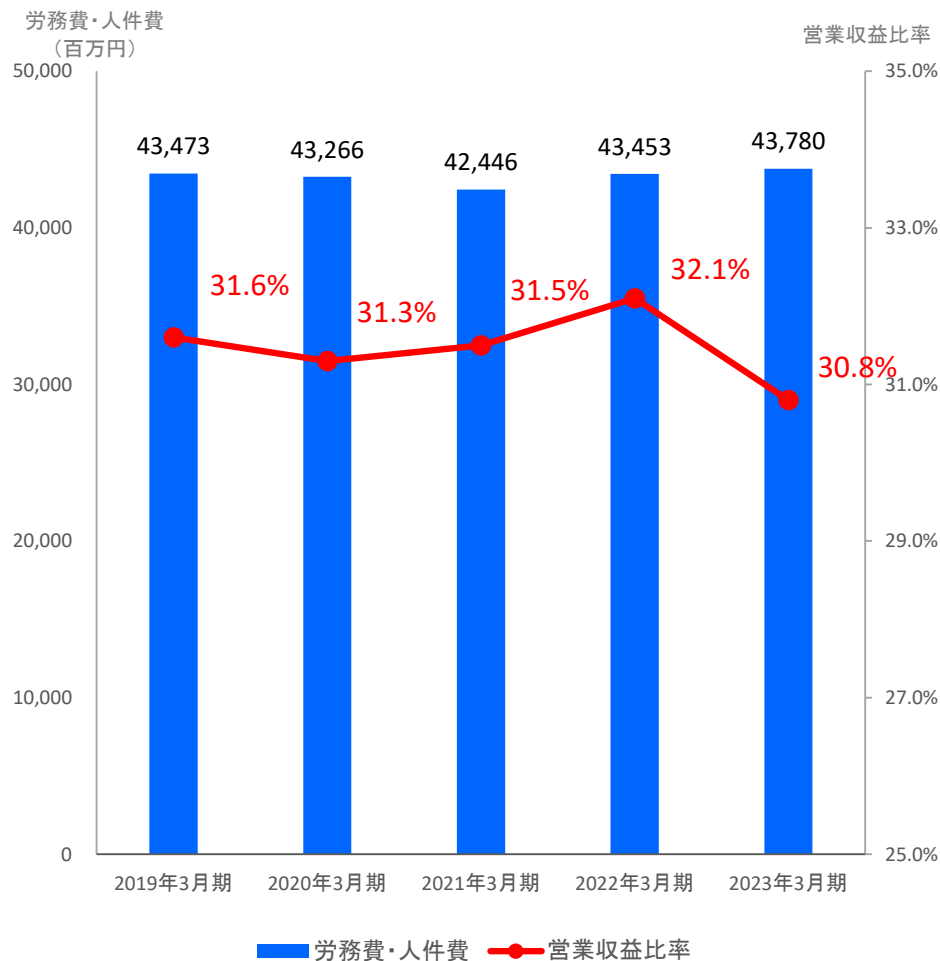
2023年3月期 営業利益の増減要因

営業利益は前期比較0.2%増、約1千万円の増益

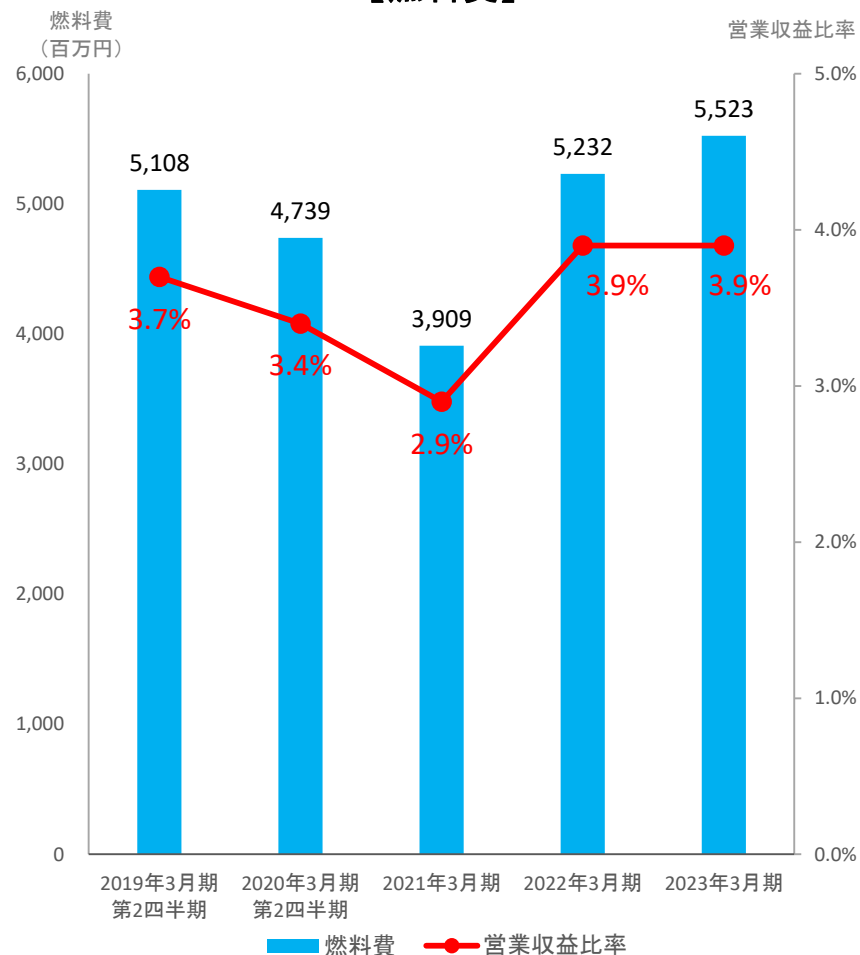


2023年3月期 営業費用（人件費・燃料費）の推移

【労務費・人件費】

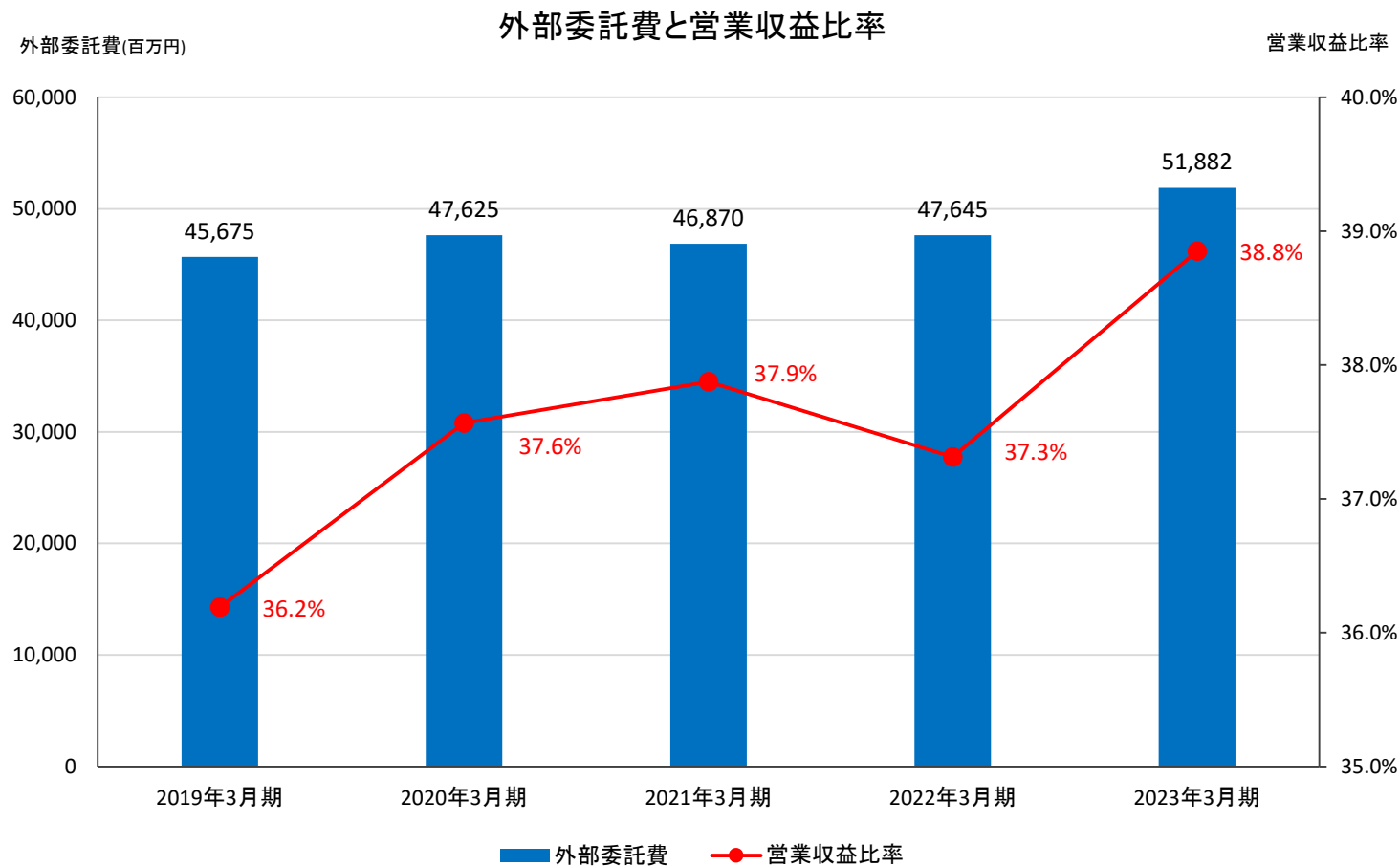


【燃料費】



2023年3月期 外部委託の状況

外部委託費の営業収益比率は前期比1.5%増



(注)外部委託費は備車料および運送委託料、収入比率は物流関連事業の売上に対する比率

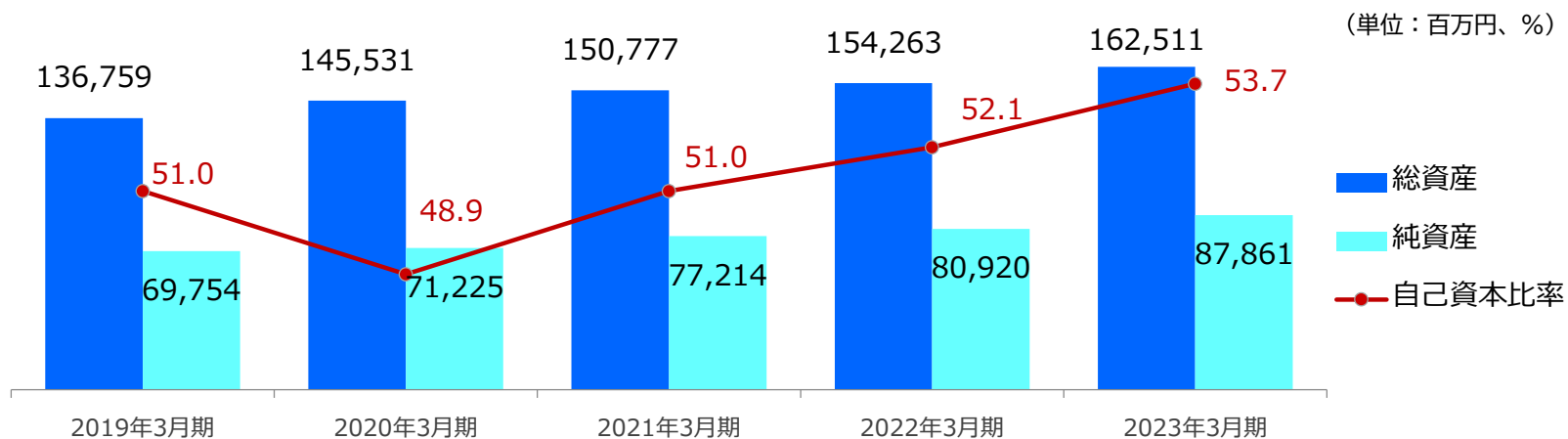


連結貸借対照表の概要

総資産は前期比較 8,247百万円増加

(単位：百万円、%)

	2019年3月期	2020年3月期	2021年3月期	2022年3月期	2023年3月期	前期増減
流動資産	45,871	58,480	54,174	57,818	62,144	4,325
固定資産	90,887	87,051	96,602	96,444	100,366	3,921
資産合計	136,759	145,531	150,777	154,263	162,511	8,247
流動負債	39,632	38,193	36,392	34,252	35,347	1,095
固定負債	27,372	36,112	37,170	39,090	39,302	211
負債合計	67,004	74,306	73,563	73,342	74,649	1,306
純資産合計	69,754	71,225	77,214	80,920	87,861	6,940
負債純資産合計	136,759	145,531	150,777	154,263	162,511	8,247
自己資本比率	51.0	48.9	51.0	52.1	53.7	1.6



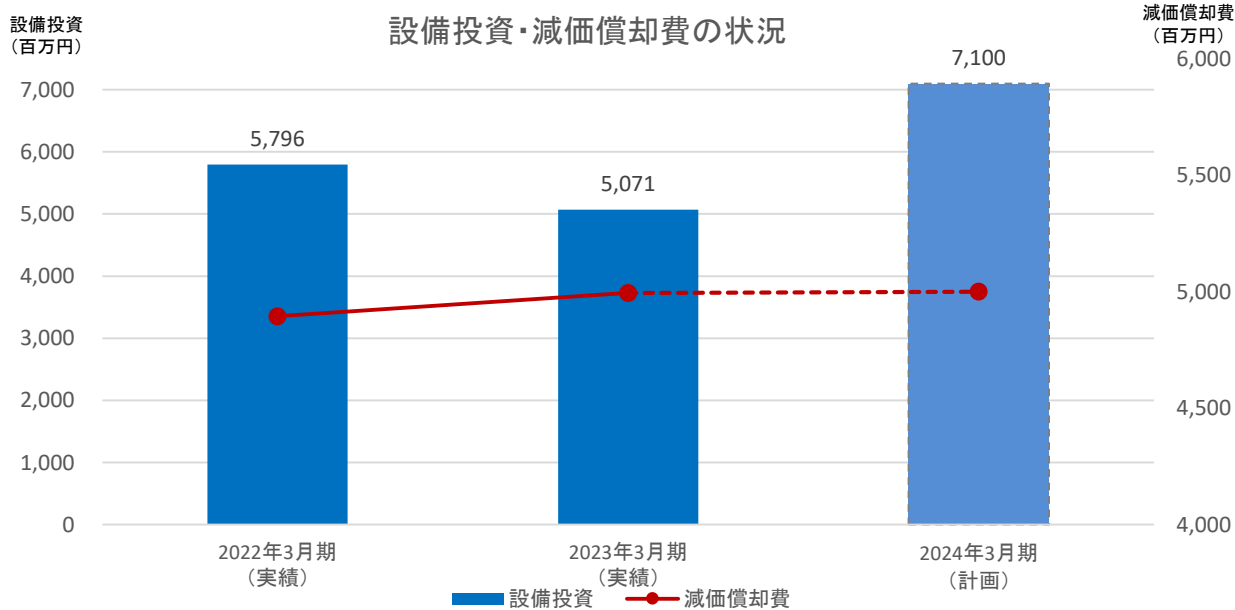
設備投資・減価償却費の概要

設備投資は約50億円を実施、今期は約71億円を見込む

(単位：百万円)

		第22次中計 (3ヶ年合計)	2022年3月期 (実績)	2023年3月期 (実績)	2024年3月期 (計画)
土地	新施設用地	1,000	234	2	240
施設	新規施設、増改築	7,200	398	776	1,800
車両	車両代替	2,700	741	673	1,000
リース資産	車両リース料、システム関連、等	6,900	2,801	2,363	2,800
その他	機械、建設仮勘定、等	2,200	1,622	1,257	1,260
設備投資		20,000	5,796	5,071	7,100
減価償却費		17,300	4,894	4,994	5,000

3ヶ年合計(見込み)
180億円



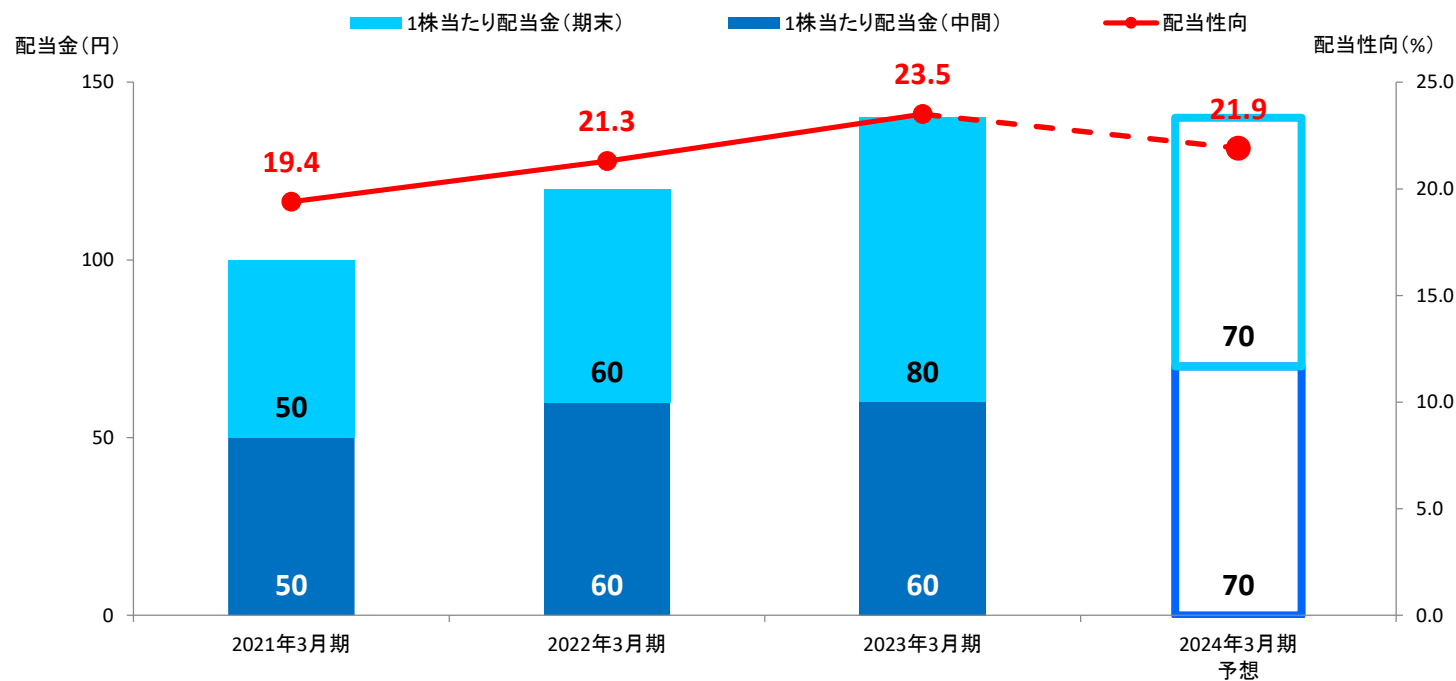
株主還元

配当政策の基本方針

将来の事業展開に備えた成長投資の原資の確保

財務の健全性維持

キャッシュフローの水準等にも留意して、株主の皆様に対する安定配当を実施



1

2023年3月期 連結決算概要

2

2024年3月期 通期連結業績予想

3

第22次中期経営計画の進捗状況



2024年3月期 通期連結業績予想の概要

営業収益は前期比較5.7%増、営業利益は前期比較8.4%増を予想

(単位：百万円)

	2023年3月期 実績	2024年3月期 業績予想	前期増減	前期増減率
営業収益	141,920	150,000	8,080	5.7%
営業利益	7,381	8,000	619	8.4%
営業利益率	5.2	5.3%	-	-
経常利益	8,189	8,400	211	2.6%
経常利益率	5.8	5.6%	-	-
親会社株主に帰属する 当期純利益	5,391	5,800	409	7.6%
当期純利益率	3.8	3.9%	-	-



1

2023年3月期 連結決算概要

2

2024年3月期 通期連結業績予想

3

第22次中期経営計画の進捗状況



「第22次中期経営計画（2021年度～2023年度）」の概要

スローガン

TONAMI New Plan 2023

新たな社会構造の中でDXによる業務効率化を更に推進し生産性を上げ
物流サービスと輸送事業の連携強化により中長期的な成長を継続する

特別積合せの複合
ビジネスとしての
戦略展開による
ロジスティクス
ビジネスの成長

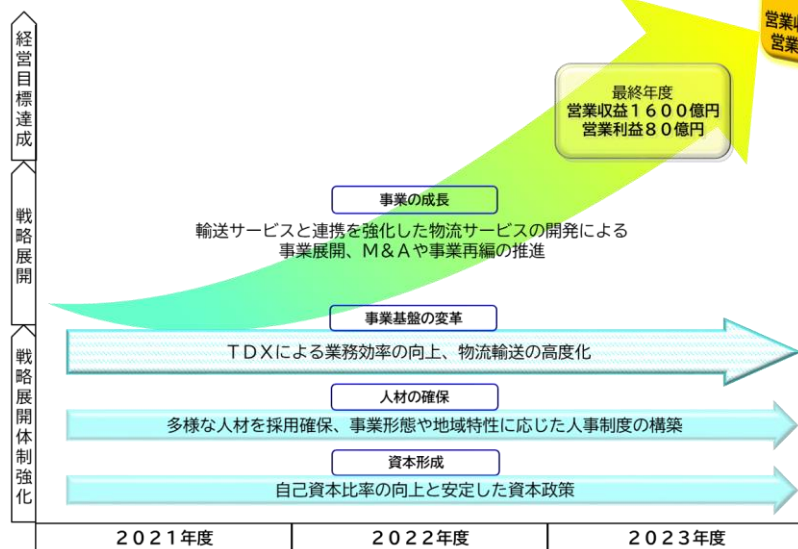
TDXによる
業務効率の向上
(TONAMI
デジタルトランス
フォーメーション)

多様な人材を採用
確保、事業形態や
地域特性に応じた
人事制度の構築

自己資本比率の
向上と安定した
資本政策

経営品質
(CSR・BCP)と
成長性(ESG)
評価や社会的
認知度の向上

戦略ロードマップ



連結業績目標

(単位：百万円)

	2020年度 実績	2023年度(最終年度) 業績目標
営業収益	134,695	160,000
営業利益	6,455	8,000
営業利益率	4.8%	5.0%
経常利益	7,146	8,300
経常利益率	5.3%	5.2%
税引後当期純利益	4,660	5,200
当期純利益率	3.5%	3.3%
ROA (総資産経常利益率)	4.8%	5.3%
ROE (自己資本当期純利益率)	6.3%	6.0%
ROIC (投下資本営業利益率) ※	4.4%	5.0%

※ROIC=[営業利益×(1-税率)]÷(株主資本+有利子負債)



第22次中期経営計画の業績目標に対する進捗状況

連結業績目標

(単位：百万円)

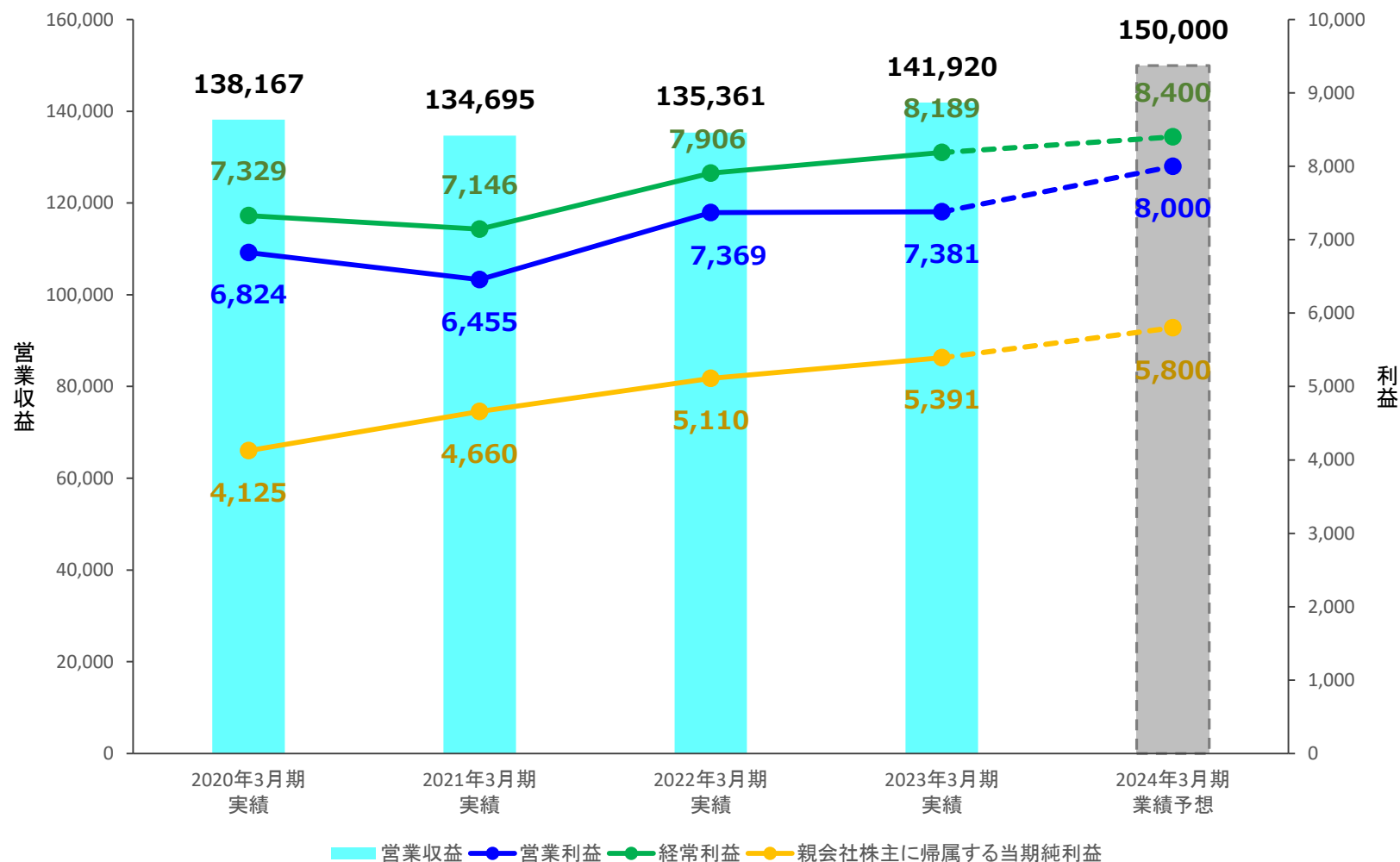
	初年度	次年度	最終年度		
	2022年3月期 実績	2023年3月期 実績	2024年3月期 業績予想	最終目標 との比較	第22次中計 最終目標
営業収益	135,361	141,920	150,000	93.8%	160,000
営業利益	7,369	7,381	8,000	100.0%	8,000
営業利益率	5.4	5.2	5.3	-	5.0
経常利益	7,906	8,189	8,400	101.2%	8,300
経常利益率	5.8	5.8	5.6	-	5.2
親会社株主に帰属する 当期純利益	5,110	5,391	5,800	111.5%	5,200
当期純利益率	3.8	3.8	3.9	-	3.3



営業収益・利益の推移

営業収益は増収基調、利益は増益基調で推移を予想

(単位: 百万円)



事業の成長

輸送サービスと連携を強化した物流サービスの開発による事業展開、M & Aや事業再編の推進

2023年4月

トナミ運輸(株)新尼崎事業所竣工（兵庫県尼崎市）

トナミ運輸(株)は、当社グループ最大の施設となる約5万㎡の延べ床面積を持つ新尼崎事業所を新設しました。施設が狭隘で老朽化した尼崎支店を移転するとともに、同施設に関西センターを移転、尼崎流通センターを新たに開設し、関西地区における物流機能の充実・強化をはかっております。

【新尼崎事業所外観】



人材の確保

多様な人材を採用確保、事業形態や地域特性に応じた人事制度の構築

ドライバーに密着した採用動画を作成、人材を確保

トナミ運輸(株)は、人材の確保に向けて、ドライバーに密着した採用動画を作成し、採用活動に活用しています。

学生・求職者からの「社内の雰囲気を知りたい」、「ドライバーの1日の流れを知りたい」などの要望に応えるため、入社後をイメージしやすいよう「ドライバーの仕事の流れ・人との関わり」に重点をおいて作成しました。仕事の厳しさややりがい、社内の雰囲気など、外からはわからない情報も伝え、入社前イメージと入社後の実態とのミスマッチを解消し、採用後の人材定着効果を期待しています。

長距離ドライバー編



集荷配達ドライバー編



第22次中期経営計画 重点戦略

経営品質の向上

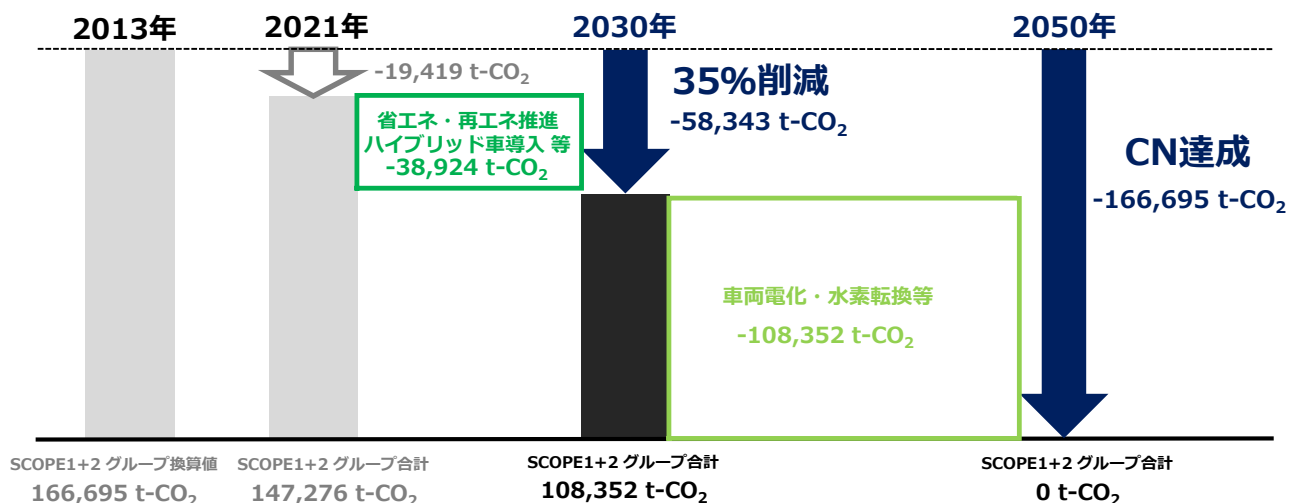
経営品質（CSR・BCP）と成長性（ESG）評価や社会的認知度の向上

2050年カーボンニュートラル達成を目指します



当社グループは、気候変動に係るリスク及び機会が自社の事業活動や収益等に与える影響についてのデータ収集と分析を進め、これらへの対処が経営上の重要課題であるという認識のもと、TCFD提言に基づく情報開示を行い、2030年に温室効果ガス35%削減（2013年度比）、2050年にカーボンニュートラル達成という目標を設定しました。

今後も気候変動に関する取り組みを推進するとともに、企業価値向上とサステナブルな社会の実現に貢献するため、TCFD提言に基づく情報開示の拡充に努めてまいります。



第22次中期経営計画 重点戦略⑤

経営品質の向上

経営品質（CSR・BCP）と成長性（ESG）評価や社会的認知度の向上

トナミ運輸(株)のホームページ上でCO2排出量を算出できるサービスを開始

The screenshot shows a web form titled "CO2排出量の算出" (Calculation of CO2 Emissions). It is divided into two main sections: "発地" (Origin) and "着地" (Destination). Each section has input fields for "郵便番号" (Postal Code) and "都道府県と市区町村" (Prefecture and City/Town/Village). Below these are input fields for "荷物" (Cargo), including "総重量" (Total Weight) in Kg and "総容積" (Total Volume) in m³. A large orange button with a green lizard icon and the text "CO2排出量を計算" (Calculate CO2 Emissions) is prominently displayed. At the bottom, a green box shows the results for two scenarios: "トナミ便（特積み）の場合" (In the case of Tonami Mail (Special Loading)) with a value of 49.407 Kg, and "ガイドラインを用いた場合" (When using the Guidelines) with a value of 59.023 Kg. The values 49.407 and 59.023 are circled in red.

CO ₂	項目	値	単位
CO ₂	トナミ便（特積み）の場合	49.407	Kg
CO ₂	ガイドラインを用いた場合	59.023	Kg

CO₂排出量の算出画面

トナミ運輸(株)ホームページ掲載先

<https://www.tonami.co.jp/co2>

トップページの「便利なサービス」から
「CO₂排出量算出サービス」へ

トナミ運輸(株)のホームページ上で発地・着地の郵便番号や重量などの貨物情報を入力することで、当社で輸送した場合のCO₂排出量を簡単に算出することができます。

物流インフラとしての社会的責任を担う企業として、環境負荷低減に向けた取り組みを推進することで、SDGsの実現をめざしてまいります。



ESGの取り組み

SDGsの取り組みは以下のとおり

項目	CSR重要課題	関連するSDGs
安全	輸送の安全確保	 
	物流品質向上	  
環境	カーボンニュートラルへの取り組み	        
	環境マネジメント	
	リサイクルの推進	
社会	地域社会とのコミュニケーション	       
	働きやすい職場づくり	
	ダイバーシティ＆インクルージョン	
ガバナンス	コーポレートガバナンスの強化	 
	コンプライアンスの推進	



ご清聴ありがとうございました



トナミホールディングス株式会社

【お問い合わせ先】 経営企画グループ TEL : 0766-32-1073

E-mail : kikaku@tonami.co.jp

【ホームページ】 <https://www.tonamiholdings.co.jp/>

■本資料の注意点

- ・本資料は当社をご理解いただくために作成されたもので、当社への投資勧誘を目的としておりません。投資に関する決定は、ご自身のご判断において行われるようお願いいたします。
- ・本資料に掲載されている業績見通し、その他今後の予測・戦略等に関わる情報は、現時点で入手可能な情報と合理的であると判断する一定の前提に基づき当社が予測したものです。実際の業績は、様々なリスク要因や不確実な要素により、業績見通しと大きく異なる可能性があります。
- ・本資料中の情報によって生じた影響や損害については、当社は一切責任を負いません。
- ・なお、いかなる目的であれ、本資料を無断で複写複製、または転載等を行わないようお願いいたします。

